

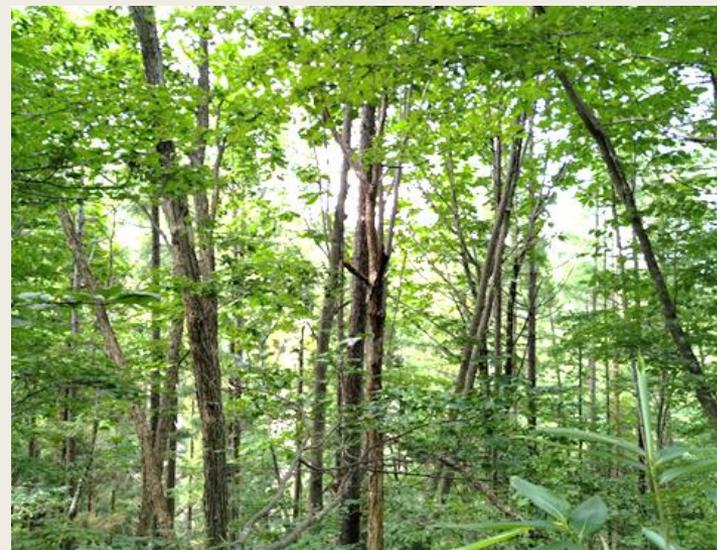
令和7年度 中部森林管理局の重点取組事項



- 林業技術の向上に向けた取組



- 安心な暮らしと
安全な環境を守るために



- 多様で健全な森林づくり



林野庁 中部森林管理局

National Forest
CHUBU Regional Office,
Forestry Agency

1 安心な暮らしと安全な環境を守るために

地域の安全・安心の確保と自然環境に配慮した治山対策等を推進します。

◇災害への迅速な対応

・上高地における安全対策

令和6年7月、年間入込者数150万人とも言われる観光地「上高地」の六百沢で発生した土石流に対し、当面の安全対策として土石流センサー等を設置しました。観光シーズン前に応急的な土石流対策工（強靱ワイヤーネット及び大型土のうを設置）を終えましたので、5月以降に本格的な復旧対策に着手する予定です。



被災した治山ダム（松本市上高地）



強靱ワイヤーネット設置状況
（地上高約5m）

・黒部峡谷における対応

令和6年9月の豪雨により、黒部峡谷鉄道の線路内に土砂が流入する被害が発生しました。災害関連緊急治山事業により、雪融けを待って5月から復旧対策に着手する予定です。



上流からの土砂流出状況（黒部市宇奈月温泉）



土砂が流入した線路内

◇災害予兆への対応

令和6年11月、北アルプスを源流とする鹿島川が白濁したとの通報を受け、上流域の斜面崩壊の可能性も想定し、地元自治体職員にも同乗いただき、ヘリコプター調査を実施しました。

※崩壊等は確認されず経過観察へ



ヘリコプターによる上空からの調査

◇通信環境の確保

最新の衛星技術である「低軌道衛星通信」を導入することで、これまでの課題であった携帯電話不感地帯での通信手段の確保対策を図ります。これにより、山間奥地でのリアルタイム監視体制の強化と、有事の際の早期警報発令にも役立てることとしています。

白濁した鹿島川流域
(長野県大町市)

遠隔臨場

ウェアラブルカメラやネットワークカメラを活用し、現場に行かずとも離れた場所から臨場を行うこと。従来の現場で行っていた立会等を遠隔で行う。



2 林業技術の向上に向けた取組

○持続的な林業経営を構築するため、伐採から再生林・保育に至る収支のプラス転換の実現に向け、国有林のフィールドを活用して、低コスト化・効率化の実証・普及等を推進します。

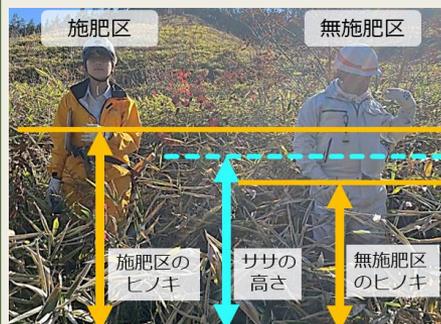
○造林や伐採作業について、下刈回数の削減が期待できる苗木の試験植栽、効率的で森林への負荷が低減される集材技術（架線系集材）の普及、無人航空機を活用した森林調査技術の開発等に取り組みます。

○現地検討会等で得た成果を、林業事業者や行政関係者へ紹介します。

◇ 5年後の実用化を目指した技術開発

・成長が良い苗（エリートツリー等）に、超緩効性肥料※を用い、さらなる成長促進効果を検証し、下刈回数の削減による省力化を目指します。

※養分が徐々に溶出し、従来より効き目が長持ち(700日)する肥料



林地に直接施肥した前例
(施肥区においては、植栽2年目でササの高さを超えた)



協力：林野庁林野図書資料館
イラスト：平田 美紗子

コンテナ内に予め施肥することで、更なる省力化を図る

・電動一輪車を試験的に用いて、コンテナ苗や獣害用の防護柵資材などの運搬にかかる省力化・軽労化についても検証します。



電動一輪車での運搬イメージ

◆造林技術検討会の開催

令和6年度は、新たに開発された枝打ち機を題材に、枝打ち技術に焦点を当て造林技術検討会を開催しました。

枝打ちは木材の品質を良くする（節のない木材を作る）だけでなく、日光が林床に届きやすくなることで地力の維持や土砂流出防備など森林保全にもつながります。

今後も様々なフィールドで新旧の林業技術に対する知見を深めるとともに、検証にも取り組んでまいります。

協力：林野庁林野図書資料館
イラスト：平田 美紗子



樹木を挟むように枝打ち機をセットし、リモコンに条件を打ち込み稼働スタート。回転しながら上昇し、枝を自動判定してチェーンソーで切断を行う。

林業作業 その4 枝打ち

節のない上質な木に育てるために、余分な下枝を切り落とします。

枝打ちの方法

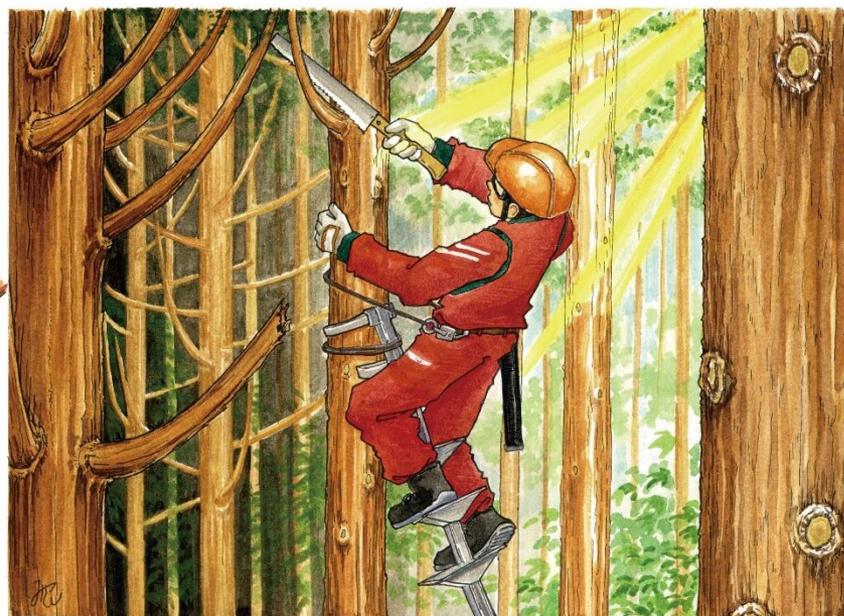


枝打ちの意義

- ・直径や年輪幅を単木的に制御
- ・完満な木材の生産
- ・無節、死に節のない木材の生産
- ・林内の光環境の調節
- ・病害虫の防除
- ・林内の見通しを良くし、作業を見やすく

枝打ちのタイミングと節の関係

節は幹に取り込まれた枝の部分です。最近では欠点ではなく、木材の個性としてみられることもあります。



◇地域特性に応じた集材技術の向上と普及の取組

林地保全等の観点から架線系作業システム（架線集材）が改めて注目される一方、林業架線技術等を有する技能者育成が課題となっています。

急峻な地形が多い当局管内では架線集材による素材生産事業を多く発注していることから、作業の効率化や技術の継承を目的とした検討会を受注業者協力のもと開催しています。

今年度は9月頃に長野県木曾地域の生産請負事業地で開催を予定しています。

（開催時期は変動する可能性があります。）



南木曾支署（現地検討会）

林業作業 その7 造材・搬出

伐採木の枝をはらい、玉切り、造材して林道端等に運びます。

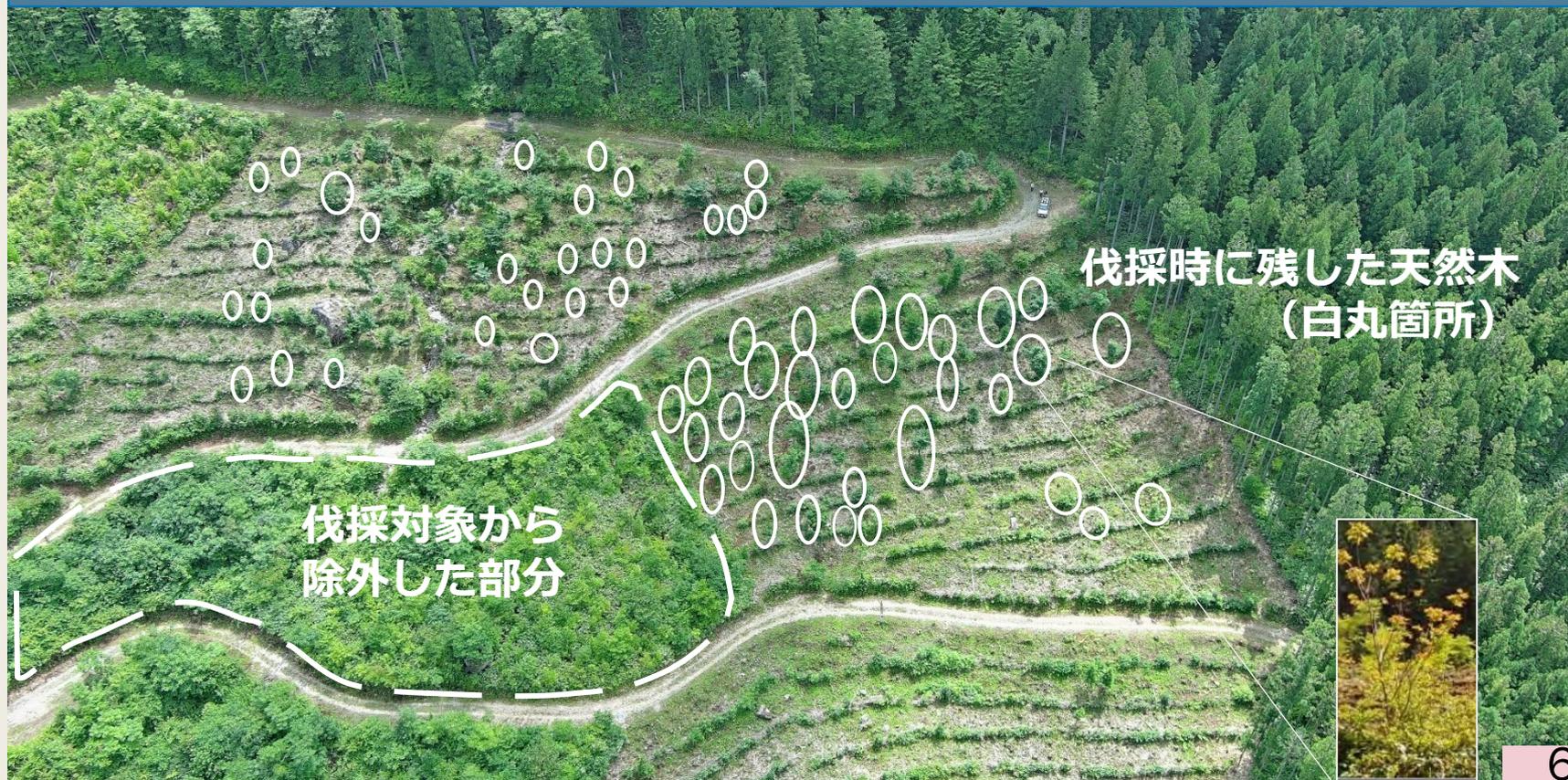


協力：林野庁林野図書資料館
イラスト：平田 美紗子

有用広葉樹等を残すことによる、生物多様性の確保

ドローンによる空撮技術の向上により、森林の様子を正確に把握が可能となりました。これにより、残すべき広葉樹の位置・面積を正確に把握することで、

- ・ 伐採後の植栽面積の削減
- ・ 生物多様性の保全
- ・ 将来的な有用広葉樹の育成が図られるようになりました。



ドローンによる苗木運搬

これまで人力により運搬していた苗木を、ドローンにより運搬することで、軽労化を検証しました。苗木2400本の運搬について、これまで約3時間かかっていたものを約1時間まで短縮でき、軽労化への期待が高まりました。



ヘリポート



荷下ろし場



- 《試験の状況等》（R6.10.11）
- ・木曽森林管理署管内
 - ・林地傾斜 平均25度
 - ・運搬距離 片道約300m
 - ・運搬本数 200本/回（約28kg/回）
 - ・フライト時間 往復4～5分
 - ・運搬本数合計 2,400本/12回

3 多様で健全な森林づくり

◇広葉樹林の森づくりを具体化していきます

令和5年度末に、大学や研究機関、自然保護団体等の有識者からなる検討会を開催し、手入れを行うべき広葉樹林についての考え方をまとめました。

このとりまとめを踏まえた森づくりに、モデル的に取り組む候補地を、令和6年度末に策定した森林計画（長野県北信地方及び岐阜県飛騨地方）において選定したところです。

近年の、国産広葉樹の出材への期待の高まりも踏まえ、広葉樹の森づくりの具体化に向け、伐採や更新の方法等に関する現地検討会を開催します。



北信森林管理署 黒姫山国有林

◇スギ花粉発生源対策を加速化します

政府が策定した花粉発生源対策において、令和15年までにスギ人工林を約2割削減するとされたことを踏まえ、中部森林管理局においても、スギの伐採と植替えを加速化します。

管内の国有林の中でもスギが多く分布する長野県北信地方、岐阜県飛騨地方を中心に、スギ人工林の主伐・再造林の予定箇所を増加させており、林地保全に配慮しながら、着実に対策を進めてまいります。

【一般的なスギ】



【花粉の少ないスギ】



写真：（国研）森林研究・整備機構 森林総合研究所 林木育種センター

◇伝統技術の継承

- ・伝統的な伐採手法の継承に協力

令和7年6月に開催される御杣始祭※を控え、斧による伝統的な伐採手法である「三ツ紐伐り」の練習が3月に長野県木曾地域の国有林で行われました。

大きな樹木を傷めずに安全に伐倒できる技法であるが、斧が日常的に用いられることのない現代では、林業関係者でもふれる機会は稀であり、次世代への技術継承が課題となっています。

当局では「木の文化」を支える側面から、伝統的な林業技術の継承にも協力しています。

※みそまはじめさい：伊勢神宮の式年遷宮用材の伐り始めの祭事

三方向から斧で空洞を空ける
独特の「三ツ紐伐り」
杣人（そまびと）達が真剣な
面持ちで斧入れ箇所を選定



木の伐倒後に先端（梢）を根株に
刺し、山の恵みに感謝する行事
「株祭（かぶまつり）」

◇新たな獣害対策の取り組み

主伐・再造林が進む一方でシカの食害が深刻化し、獣害防護柵の設置が不可欠となっています。

従来、常水のない沢では、沢部と周囲の柵を一体化していたため、大雨で枝条等が沢に流れ込んだ場合、柵全体が倒壊し、復旧に多大な時間・費用・労力を要していました。

そこで、沢部の柵を独立させ、一部のみを壊れやすくする「受け流す柵」を新たに考案しました。これにより被害の拡大を防ぎ、迅速に修繕できるため、シカの侵入防止にも効果を発揮します。

また、既設の柵も種類を問わず簡易に改修可能なことから、普及に向けた取り組みを進めています。



台風による被害の様子。「受け流す柵」のみが
損壊し、周辺の柵への被害は見られない

令和7年度主要事業量

事業量(県別)

| | | 単位 | 富山県 | 長野県 | 岐阜県 | 愛知県 | 合計 | 対前年度比 |
|-------------|---------|-----------------|-----|-------|-----|-----|-------|-------|
| 保育 | 新植 | ha | － | 284 | 59 | 10 | 353 | 94% |
| | 下刈、つる切等 | ha | － | 656 | 337 | 76 | 1,069 | 114% |
| | 間伐 | ha | 28 | 1,377 | 661 | 99 | 2,165 | 77% |
| 収穫量 | 主伐 | 千m ³ | 6.8 | 205 | 164 | 41 | 417 | 113% |
| | 間伐 | 千m ³ | 6 | 318 | 172 | 30 | 525 | 93% |
| | 計(立木材積) | 千m ³ | 13 | 523 | 336 | 71 | 942 | 101% |
| 立木販売(立木材積) | | 千m ³ | 8 | 177 | 212 | 43 | 440 | 99% |
| 製品生産量(丸太材積) | | 千m ³ | 1 | 167 | 55 | 13 | 235 | 98% |
| 林道事業 | 新設 | m | － | 725 | － | － | 725 | 68% |
| | 改良 | m | 10 | 1,822 | 697 | 135 | 2,664 | 152% |
| 治山事業 | 溪間工 | 基 | 5 | 34 | 19 | 1 | 59 | 74% |
| | 山腹工 | ha | 1 | 26 | 4 | 0.5 | 32 | 119% |
| | 地すべり防止工 | ha | － | 291 | － | － | 291 | 177% |

※1 事業量は、項目毎小数点以下四捨五入により、計が合わない場合があります。

※2 収穫量及び立木販売の単位は立木材積、製品生産量の単位は丸太材積です。

※3 立木販売には、分収育林、分収造林を含み、分収契約者の意向等により変更する場合があります。

令和7年度トピックス

◇フォトコンテスト2025開催◇

「山と人の暮らしの再発見」をメインテーマに、山での仕事の魅力や山の季節変化の美しさを捉えた作品を、広く募集します。

募集期間は令和7年4月中旬～12月中旬、表彰は令和8年4月に行う予定です。



◇2025ミス日本「みどりの大使」関連イベント◇

長野県出身の 佐塚こころ さんが、令和7年4月27日(日)に一日署長(長野県松本市/中信森林管理署)に就任します。

同日、上高地開山祭に合わせて、治山現場も視察予定です。
・その他イベント等への出演情報は、随時HPに掲載します。



◇山仕事カスタムカー◇

「林道を走破できる地上高の高い車体」、
「汚れた道具類も格納できる広い荷室」、
といった現場の声に応えるため、現有する軽車輛をカスタマイズしました。

民間の林業事業者も工夫を凝らした山仕様の車輛を所有していますので、現場において情報交換しながら、更に使いやすく機能的なカスタムカーのアイデアを盛り込んでいきます。



・標準車比 35mm アップの最低地上高。

・砂利道の跳石から車輛下部を守るアンダーカバーも装着。

・荷室には金属製フレームの棚を作設。

・作業で汚れた鋤簾や下刈り鎌なども入るアルミ製引き出し道具箱も製作。

・開閉式のテーブルは、現場での研修や検討会の際に、モニターを置いてドローン映像やパソコン画像を複数人で見るなど、用途に応じて活用できる耐荷重仕様。

◇もっと知ってもらいたい我が職場◇

各種行事で着用できるジャケットと帽子を製作しました。

イラストデザインは職員によるもので、当局の業務を現すアイコンをちりばめました。

イベント等で見掛けましたら、気軽に声をかけてください。



モノクロ森林紀行

～過去懐かしのモノクロ写真を掲載しています～



デジタル森林紀行

中部森林管理局のホームページでは、森林が織りなす美しい風景を気軽に楽しむことができるサイトを設けています。

デジタル森林紀行への
アクセスはコチラ→



昭和37年頃
名古屋白鳥水中貯木場



昭和34年頃
運材中の木曾の森林鉄道



国民の森林・国有林

林野庁 中部森林管理局

お問い合わせ先
〒380-8575

長野県長野市大字栗田715番地5

TEL 050-3160-6507

(企画調整課)

<http://www.rinya.maff.go.jp/chubu/>



中部森林管理局

| | | | |
|----------------|-----------|---------------------|---------------|
| 名古屋事務所 | 〒456-8620 | 愛知県名古屋市長久区熱田西町1-20 | 050-3160-6660 |
| 富山森林管理署 | 〒939-8214 | 富山県富山市黒崎字塚田割591-2 | 050-3160-6080 |
| 北信森林管理署 | 〒389-2253 | 長野県飯山市大字飯山1090-1 | 050-3160-6045 |
| 中信森林管理署 | 〒390-0852 | 長野県松本市島立1256-1 | 050-3160-6050 |
| 東信森林管理署 | 〒384-0301 | 長野県佐久市白田1822 | 050-3160-6055 |
| 南信森林管理署 | 〒396-0023 | 長野県伊那市山寺1499-1 | 050-3160-6060 |
| 木曾森林管理署 | 〒399-5604 | 長野県木曾郡上松町大字正島町1-4-1 | 050-3160-6065 |
| 南木曾支署 | 〒399-5301 | 長野県木曾郡南木曾町読書3650-2 | 050-3160-6070 |
| 飛騨森林管理署 | 〒506-0031 | 岐阜県高山市西之一色町3丁目747-3 | 050-3160-6085 |
| 岐阜森林管理署 | 〒509-3106 | 岐阜県下呂市小坂町大島1643-2 | 050-3160-6090 |
| 東濃森林管理署 | 〒508-0351 | 岐阜県中津川市付知町8577-4 | 050-3160-5675 |
| 愛知森林管理事務所 | 〒441-1331 | 愛知県新城市庭野字東萩野49-2 | 0536-22-1101 |
| 森林技術・支援センター | 〒509-2202 | 岐阜県下呂市森876-1 | 050-3160-6095 |
| 木曾森林ふれあい推進センター | 〒397-0001 | 長野県木曾郡木曾町福島5473-8 | 0264-22-2122 |
| 伊那谷総合治山事業所 | 〒395-0001 | 長野県飯田市座光寺5152-1 | 050-3160-6075 |